

明石市は平成30年4月に中核市へ移行します

ひら
みんなで拓こう！

日本一のまちづくり

—地方自治をリードするまち明石

こどもに
寄り添った
サポートを充実



障害のある人も
ない人も誰もが
住みやすく



明石が目指しているまちづくりを
紹介します！



市民の安心・
安全を守る

人も動物も
暮らしやすく



明石市

今の明石

増えています！
住む人・来る人・赤ちゃん

★人口が17年11か月ぶりに
過去最高を更新！

まちがどんどん元気に

★出生数も2年連続増加！

★市民税・固定資産税も増加！

★明石駅前の人通りも4割増加！

まちの好循環
維持・拡大へ



これからの明石

これまで以上に市民の暮らしや生活に責任を
持ったまちづくりを進めていきます。



サービスをさらに向上
自律したまちへ

将来のまちづくりに必要な
権限の更なる
移譲



時代の変化や市民ニーズに
応えたまちづくりをすすめています！

明石市が目指す
明石のトリプルスリー

もっと住みたい・住み続けたいまちへ

- 人口 30万人 (本気で目指す、30万人)
- 赤ちゃん 3000人 (子育てしやすいまち)
- 本のまち 300万冊 (貸し出し冊数300万冊)

明石のトリプルスリー

目標の達成に向けて着々と

明石市は、「明石のトリプルスリー」として、平成31年度の人口30万人・年間出生数3000人・本の貸し出し冊数300万冊を目指しています。目標達成に向けて着々と取り組みを進めています。

選ばれる明石、さらに住みやすいまちへ

平成 30 年 4 月から明石市は

市民サービスを向上、関西を代表する都市へ

ちゅう かく 中核市

Q中核市ってなに？

中核市とは、政令指定都市に次ぐ規模の大きな市に都道府県の事務（行政サービス）の一部を移譲し、市が行うことができるようにする制度のことです。

市民が誇りに思うまちへ

中核市への移行により市民サービスのさらなる向上を図るとともに、関西を代表する都市として知名度を高め市のイメージアップにつなげることで、市民が誇りに思う『住みたい・住み続けたい』まちを目指します。

明石の魅力が
よりアップ!



—重点的な3つの取り組み—

中核市へ移行すると約 1,900 の事務が県から移譲されることに加え、新たに行使することができる権限が増えます。中でも、中核市へ移譲される事務の約半数を占め、市民の皆さまの命や健康に関連の深い保健所、地域猫活動など市民の関心が高まっている動物愛護、そして、こどもを核としたまちづくりの集大成と位置付ける児童相談所の3つに重点的に取り組んでいきます。



市立保健所

平成 30 年
4 月開設

平成30年4月に市が開設する保健所では、保健センター業務との一元化を図り、迅速で質の高い保健衛生サービスを提供します。

保健衛生

保健所



関係団体や 地域との連携推進

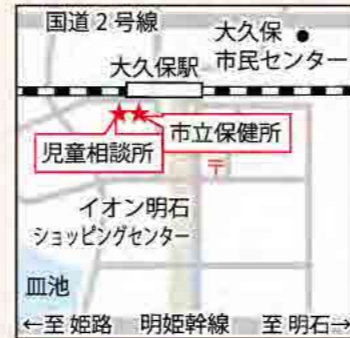
健康医療部門のみならず福祉部門も含めた関係団体や地域・行政が連携を深め、精神障害者の早期退院や在宅生活に係る支援など、地域一体となった保健サービスの充実を図ります。

健康危機管理の拠点

感染症や食中毒など命や健康を脅かす危機に備えて、平時から医療や食品・生活衛生施設など地域の実情を把握するとともに、緊急時には被害拡大防止に向けた対応を迅速に行います。

所在地

大久保町ゆりのき通 1 丁目 4-7
(産業交流センター内 2~5 階)



ニーズに応じた きめ細かな支援

子どもから高齢者まで、市民一人ひとりのニーズを踏まえ、予防から治療、地域ケアまで切れ目ないきめ細かな支援を行います。

一人ひとりの命と健康を 地域一体で支える

(仮称)あかし動物センター

平成 30 年
4 月開設

平成 30 年 4 月に(仮称)あかし動物センターを開設し、動物愛護の普及・啓発、狂犬病の予防などの取り組みを進めていきます。



3つの コンセプト

ともに生きる

動物の保護や保管、譲渡などを行い、人も動物もともに住みやすいまちを目指します。

ふれあい・交流

動物とのふれあいを通じて人々の交流の場や関係団体との連携を深める場をつくらせます。

伝える・広める

講座や講演などの啓発活動を通じて動物との関わり方を伝えていきます。

所在地

大久保町大窪 2747-1



こども



児童相談所

平成 31 年
4 月開設
予定

こどもやその家庭の個々の状況に応じて適切に支援する仕組みを充実させていきます。

児童虐待ゼロ を目指して

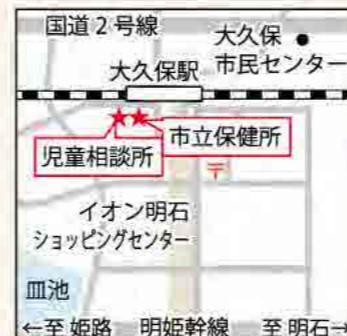
児童相談所を設置することで、こどものSOSに素早く対応し、児童虐待ゼロを目指します。

あかし里親 100% プロジェクト

さまざまな事情で保護者と暮らせない就学前乳幼児の里親委託率 100%を目指します。

所在地

大久保町ゆりのき通 1 丁目 4-7
(産業交流センター横駐車場)



児童相談所は都道府県と政令指定都市に設置が義務付けられているほか、中核市は希望すれば設置することができます。現在、48 ある中核市のなかで児童相談所を設置しているのは、神奈川県横須賀市と石川県金沢市だけであり、明石市が設置すれば、関西の中核市で初となります。

動物の命を大切に
するまち

こどもを核とした
まちづくりの集大成

ちゅう かく し
中核市

市民サービス向上にむけたその他の取り組み

「市民に寄り添う」「市の責任に基づく」「市民の安心・安全を守る」の3つのキーワードに基づき、次の分野にも積極的に取り組んでいきます。

障害のある人もない人も
誰もが住みやすいまちへ

総合的な障害者施策の推進



身体障害者手帳の交付に関する事務のすべてを市でできるようになります。一人ひとりの状況を踏まえた柔軟かつ迅速な手帳発行を行うとともに、必要とされる支援やサービスに速やかにつなげます。

- 中核市の事務
- ・身体障害者手帳の交付等
 - ・身体障害者手帳の申請に係る診断書を作成する医師の指定
 - ・手話通訳者等の養成研修、派遣事業の実施
 - ・身体障害者補助犬の苦情に対する相談、助言、指導、関係機関の紹介 など

誰もが安心して
利用できる
福祉サービスを提供

福祉施設の設定から運営
までを一括して対応

保育所や高齢者・障害者施設など多くの市民が利用する福祉施設について、設立認可に加えて運営状況の把握も市が行うことで、安心・安全な福祉サービス提供体制を構築します。



- 中核市の事務
- ・児童福祉施設、老人福祉施設の設置認可や指導監督など
 - ・障害福祉サービスや介護サービスなどの事業者の指定や指導監督など

ひとり親家庭への
支援の充実

一人ひとりの
子どもに寄り添う

個々の家庭の状況に応じた迅速かつ柔軟な福祉資金の貸付を行うほか、市で実施しているひとり親家庭への総合的な支援につなげます。



- 中核市の事務
- ・母子及び父子、寡婦福祉資金の貸付け
 - ・貸付けに係る償還事務 など

教職員研修による
サポート力向上で、
より良い学習環境を

子どもたちの
健やかな学びを
サポート

市立小中学校の教職員への研修を市が行うことで、学校や地域の実情に合った教職員の育成が図れます。また、福祉部門とも連携することでいじめや虐待にも迅速・適切に対応します。



- 中核市の事務
- ・公立小中学校教職員の研修
 - ・福祉行政に従事する職員の資質向上に必要な訓練

これまでの市の取り組み

子どもを核としたまちづくり

- 離婚前後の子どもの育ちを応援
面会交流
養育費の取り決め
- 「あかし版子ども食堂」の市内全域への展開
子ども食堂の開設や運営の支援、費用助成
- 無戸籍者に対する支援
戸籍取得に向けた法的手続きの支援
- ひとり親家庭への日常生活支援
児童扶養手当相当額の毎月支給

これまでの市の取り組み

すべての人が地域で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、事業者や地域の団体と一緒に取り組みを進めています。



市役所窓口への手話通訳者の設置、テレビ電話システムによる遠隔手話通訳対応

誰もが利用しやすい
お店づくり、
地域づくりに
市が助成



点字メニューの普及

障害のある人とない人の
幅広いコミュニケーション
を支援



段差解消スロープの設置

地域福祉活動の
一層の充実

地域の実情に
応じた民生委員・
児童委員活動の推進



民生委員・児童委員の定数決定や民生・児童協力委員の委嘱を市が行うこととなります。地域の実情に柔軟に対応できる体制を作り、民生委員・児童委員がより活動しやすい環境を整えます。



- 中核市の事務
- ・民生委員・児童委員の定数の決定、指揮監督
 - ・民生委員・児童委員の指導訓練に関する計画策定・実施
 - ・民生・児童協力委員の委嘱、指揮監督など

もっと暮らしやすいまち

良好な生活環境維持のための
取り組みを総合的に推進

一般廃棄物に加えて、産業廃棄物の事務も市が行えるようになります。廃棄物に関する相談や事業者への指導などを市が一括して行うことで、良好で住みやすい生活環境を維持します。



- 中核市の事務
- ・廃棄物処理施設の設置許可
 - ・産業廃棄物処理業者や使用済み自動車引取事業者などの許可や指導監督 など

移行までの主なスケジュール

平成 29 年 3 月	市議会で「中核市の指定に係る総務大臣への申出」議案を審議、議決
4 月	県へ中核市の指定に係る同意の申入れ
6 月	県議会で審議、議決 県の指定申出への同意
7 月	保健所、(仮称)あかし動物センターの施設整備に着手 (平成 30 年 1 月末完成予定)
7 月	総務大臣へ中核市の指定申出
11 月	中核市の指定に係る政令の交付
平成 30 年 4 月	中核市移行 保健所・(仮称)あかし動物センター開設

来年 4 月の移行に向け
着々と準備を
進めています



未来・その先へ

2017年

市民みんなで“おもてなし”

2017
西日本 **B-1グランプリ**

in 明石

11月25日 土・**26日** 日
9:30 ~ 15:30

明石公園で開催

明石のB-1グランプリは、誰もが暮らしやすい、やさしいまちを目指す明石ならではの「やさしいB-1グランプリ」として開催します。



2018年

市民が誇りに思うまちに

中核市へ移行

2019年には、中核市として関西初の児童相談所を設置。市民サービスのさらなる向上を目指します。



2019年

市制100周年

間もなく迎える100周年、その先の未来へつながるまちづくりを進めます。



\\ぜひご利用ください\\

出前講座

「中核市って何？
明石市がどう変わるの？」



市職員が地域に伺い市の取り組みや皆さんの疑問を分かりやすく説明します。

お問い合わせは、下記までお願いします。

発行／明石市 市民生活局 中核市準備室

TEL／078-918-5259 FAX／078-918-5655

mail／chuukakujiyunbi@city.akashi.lg.jp

平成29年11月